全員そろっての学校生活がスタートしました

4月11日（月）に第46回入学式を行い、104名の新入生を迎えました。1年生は入学式で緊張しながらも、名前を呼ばれると元気な声で返事ができました。6年生の児童代表の歓迎の挨拶の言葉にも、1年生たちは元気に答えていました。

入学式で1年生と3つの約束をしました。『命を大切にすること』『あいさつをすること』『友達を大切にすること』。お互いに仲間を気遣いながら心の中をしあわせでいっぱいにならながら楽しく学校生活を過ごせてくれることを祈っています。一緒に生活する子どもたちが、互いに認め合い、大切にすることを通して、かけがいのない仲間と感じ、信頼しあえる関係を築いていきたいと思っています。

入学式のために6年生の児童が会場の準備をしてくれました。入学式には在校生は出席できませんでしたが、1年生のためにと校内の隅々まで掃除をして迎えてくれました。児童代表の歓迎の言葉には、1年生にとって頼りになる6年生でいようという思いが込められていました。

12日からは、1年生も上級生と一緒に部団で登校してきました。登校班の班長は、1年生の様子を振り返って見ながら静かに歩いてきます。保護者の方もいつもより多くの方が学校まで来てくださっています。多くの人に見守られて1年生が元気に登校してくると、校門がいつもより明るい空気を感じられます。特に登下校においては多くの方にご支援いただきありがとうございます。

入学式では『しあわせのバケツ』の話引用しました。人は心に『しあわせのバケツ』を持っています。このバケツは優しくされたり優しくしたりするとしあわせがいっぱいになります。でも嫌なことをされたりしたりすると空になっていく。温かい気持ちを他人に向けることは自分にとって向けていることにもなります。

子どもたちの笑顔があふれるよう、教職員一同、子どもたちの安全・安心に配慮して、笑顔あふれる学校にしていけるようといきいきと活動する教育内容を展開していきます。ご協力よろしく願いいたします。

「新しい時代をたくましく生きる子」に

真弓小学校の教育目標は「確かな力と豊かな心を持ち、新しい時代をたくましく生きる人間の育成」です。子どもが主体的に対話的に学び、自ら「学ぶ力」と「生きる力」をはぐくむよう取り組んでいきます。

一人1台の情報端末を活用した授業づくりが進められ、高学年は授業でPCを使うことが珍しくなくなりました。低学年にとっては、精密機械であるPCは、持ち運びが重たい上に、取り扱いに注意が必要で、難しい課題がまた1つ増えました。

でも自分だけの PC があるのがうれしそうです。ルールを守って上手に活用できるよう取り組んでいきます。

昨年度より真弓小学校も『コミュニティースクール』として今までよりもさらに地域と連携して教育活動に取り組んできました。学校運営協議会や『ハートフルサークル』という名の学校地域協働活動も始まっています。今までも、登下校の見守り活動や読み聞かせ、演奏会などの学習支援と清掃ボランティアなどご支援いただいています。今後も新しい取り組みを増やしていきたいと考えています。地域のボランティアの皆様の方々の力や地域の皆様の方々の知恵もお借りしながら、進めていきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。学校が地域から支援いただくばかりでなく、地域の方々をつなぐ役目にもなれればと思っています。学校運営協議会では学校が進んでいく方向を確認し承認いただき、そして学校と地域が連携して地域づくりに取り組む『やさしさで繋がる人の輪』がさらに広がっていくことを願っています。今後も保護者の皆様や地域の方々のご理解・ご支援をいただき地域とともに真弓小学校の学校教育を進めていきたいと思えます。

また、子どもたちの特性に寄り添い、教職員と児童の信頼関係を築いて、どの子どもも輝ける大切な存在と信じられるような取り組みも行っています。子どもたちが楽しく笑顔で学校に来て、安心して過ごせる学校であり続けられるよう努めています。これからも社会は変わり続けますが、なかけがえのない自分という存在の価値を認め、自分らしく生きることができるよう教育活動に取り組んでいきます。

カウンセリングを希望される方はお知らせください

本年度も学校カウンセラーは酒井先生です。お子様のことでお悩みのことがありましたら、本校教頭の奥中までご連絡ください。

1回の相談時間は、原則1時間となっています。なお、1学期は4/20、5/30、6/21、7/19、8/22で予定しています。よろしくお願いいたします。